

茶 除草剤一覧

2024年7月1日現在

分類	除草剤名 (成分・含量)	作用特性 [化合物の種類]	対象 雑草	使用上の注意事項 ¹⁾
土 壌 処 理	トレファノサイド乳剤 (トリフルラリン 44.5%)	〔ジニトロアニリン系〕 ・非ホルモン型移行性 ・根部・子葉部吸収 ・残効性：長 ・移動性：極少	一年生雑草 (ツユクサ、カヤツリ グサ、キク・アブ ラナ科を除く)	1. 全面土壌散布を行う。散布量は畝間面積を算出し決定する。 2. 茶樹の枝葉にかからないように均一に散布する。 3. カヤツリグサ、ツユクサ、キク科雑草には効果が劣る。
	トレファノサイド粒剤2.5 (トリフルラリン 2.5%)			
茎 葉 処 理	プリグロックスL (ジクワットジプロモト [®] 7.0% パラコートジクロリド [®] 5.0%)	〔ビピリジリウム系〕 ・非ホルモン型接触性 ・一部移行性 ・土壌中では短時間で不活性化	一年生雑草	1. 畝間土壌処理を行う。散布量は畝間面積を算出し決定する。 2. 茶樹の枝葉にかかるとう薬害を起こすので、噴霧器の圧力を下げ飛散しないようにする。 3. 専用展着剤の加用及び曇天または夕方の散布が効果が高い。 4. 毒性が強いのでマスク、ゴム手袋、防護メガネを着用する。
	バスタ液剤 (グルホシネート 18.5%)	〔酸アミド系〕 ・非ホルモン型 ・吸収移行性 ・茎葉部から吸収	一年生雑草	1. 畝間土壌処理を行う。散布量は畝間面積を算出し決定する。 2. 茶樹の枝葉にかかるとう薬害を起こすので、噴霧器の圧力を下げ飛散しないようにする。 3. 散布後6時間以内に降雨があると効果が劣る。
	ラウンドアップマックスロード [®] (グリホサートカリウム塩 48.0%)	〔アミノ酸系〕 ・吸収移行性 ・茎葉、緑色樹皮、 活性芽から吸収 ・土壌中では短時間で不活性化	一年生および多年生雑草	1. 茶樹の枝葉にかからないよう均一に散布する。 2. 散布1時間後に降雨があっても効果が高い。
	タッチダウンiQ (グリホサートカリウム塩 44.7%)			
	サンダーボルト007 (ピラフルフェンエチル 0.16% グリホサートイソプロピル アミン塩 30.0%)	〔ダイアゾール系〕 ・非ホルモン型 〔アミノ酸系〕 ・吸収移行性 ・茎葉、緑色樹皮、 活性芽から吸収 ・速効、遅効混合剤	一年生および多年生雑草	1. 茶樹の枝葉にかからないよう均一に散布する。 2. 散布後数時間以内に降雨があると効果が劣る。
	ザクサ液剤 (グルホシネートPナトリウム塩 11.5%)	〔アミノ酸系〕	一年生雑草	

注) 水産動植物に対する影響については、農薬使用前に製品ラベルの「安全使用上の注意」欄に記載してある注意事項を必ず確認する。散布の際はキリナシノズル、飛散防止カバーを使用する。